

読書からひろがる 地域の学びづくり交流会 開催報告

～ 令和5年度 学びをつなぎ、ひろげるネットワークづくり研修会 ～

【趣旨】

地域で生涯学習・社会教育、読書活動等に関わる人々が一堂に会し、先進的な事例や取組を学び、交流する機会とする。併せて、本を切り口とした関連事業や活動等について、参加者相互の実践例を共有し、魅力ある事業運営の方策等について交流するとともに、社会教育事業の関連性を広げるネットワークづくりを目指す。

【日時】 令和5年12月14日(木) 10:00～12:30(受付 9:40～)

【会場】 滋賀県庁新館7階 大会議室(大津市京町四丁目1番1号)

【参加者】 50名(内訳:読書ボランティア、学校司書、県内公共図書館・市町行政関係者、NPO法人等)

【内容】 1. 講演

・演題 「読むことが生きるチカラに」

・講師 木下 通子 さん

(社会教育士・埼玉県立浦和第一女子高等学校担当部長兼主任司書)

2. ワークショップ

● 講演

木下さんからは、「本と人をつなぐ仕事」をどのように実現されているのかを、様々な事例と合わせて、お話いただきました。

司書として、校内ビブリオバトルを開催されていることや、県立・市町村・高校・大学等の図書館や、活字文化を支える団体が協力して開催する埼玉県内最大の図書館イベント「図書館と県民のつどい」、埼玉県の高校司書が選ぶ『イチオシ本』の企画等をご紹介いただきました。

また、社会教育士として、様々な活動を地域と連携して取り組むことの意義や価値、今後の活動のビジョンとして考えておられる「こどもの居場所に本を」の姿についての提案を頂きました。結びには、ご自身の体験や事例から得られた「読めること」は生きるチカラになることへのメッセージと、大人がどの子にも「読む」機会を提供できる環境をつくるこの大切さを講演いただきました。

● ワークショップ

「本と人をつなげるアイデアを出そう!」をテーマに少人数での情報交換を行いました。参加者が「日頃実践していること」や「現在の活動」、「これからやってみたいこと」等を持ち寄り、お互いの共通点や、関連できそうな活動を聴き合う中で、今後の活動のアイデアを話し合ったり、現状の改善



点等を考えたりする情報交換となりました。

全体交流では、少人数グループのユニークなチーム名とともに、これから目指す活動の姿や、新たな連携の在り方のアイデアなどを発表していただきました。



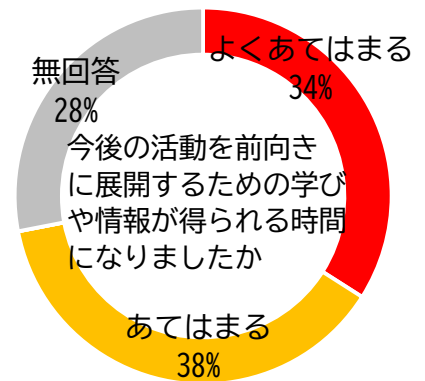
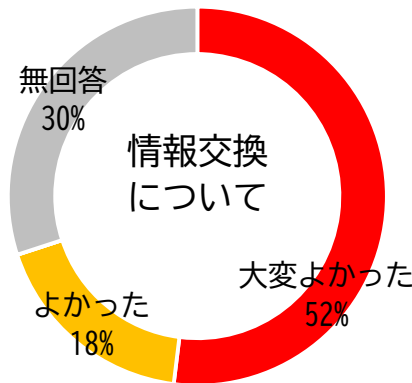
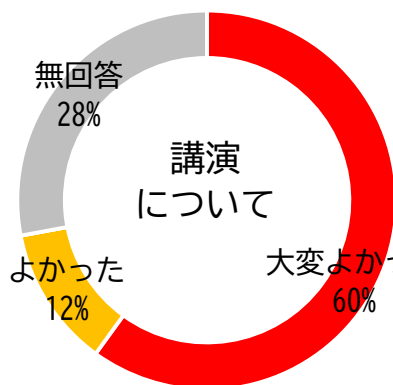
● 参加者の感想

「大変楽しく参加させていただきました。」「木下先生の話から、読書が人生の上で、いかに大切かを改めて理解できました。家庭環境によって、読書と縁がなく、学習にも影響が出る子どもへのサポートの必要性を感じました。」「自分の課題に改めて気がついた。」「先生が常にポジティブにアクティブに活動されている姿から刺激をもらいました。」「時間が短く感じました。普段お会いできない職種の方とも交流ができ、大変有意義な時間を過ごせました」等、先生の御講演に共感し、楽しんで学ぶことができたという声が多数寄せられました。

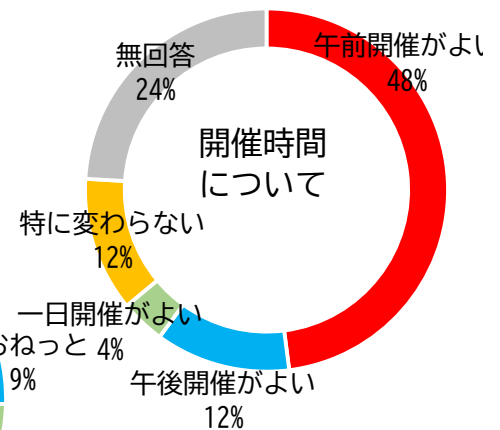
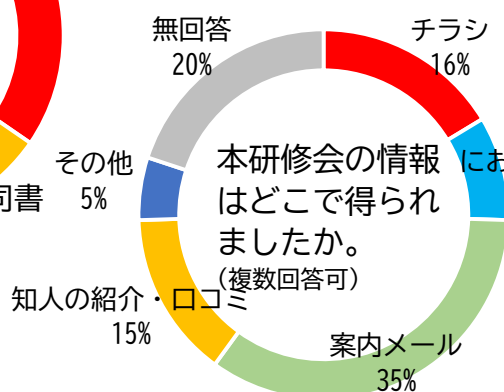
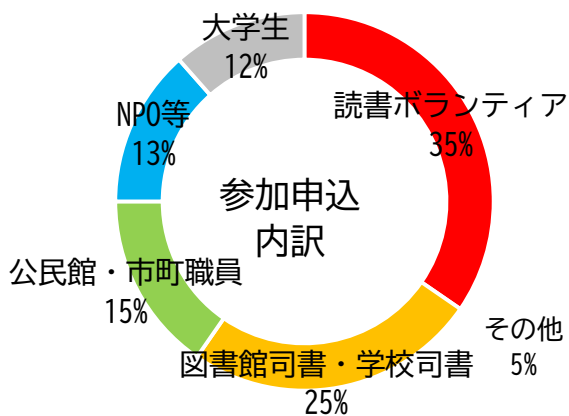
● 参加者アンケートの集計結果

アンケート対象者 50 名 回答者 39 名、アンケート未回答・未提出は「回答なし」として集計しています。

満足度



その他



本研修会の情報はどこで得られましたか。
(複数回答可)